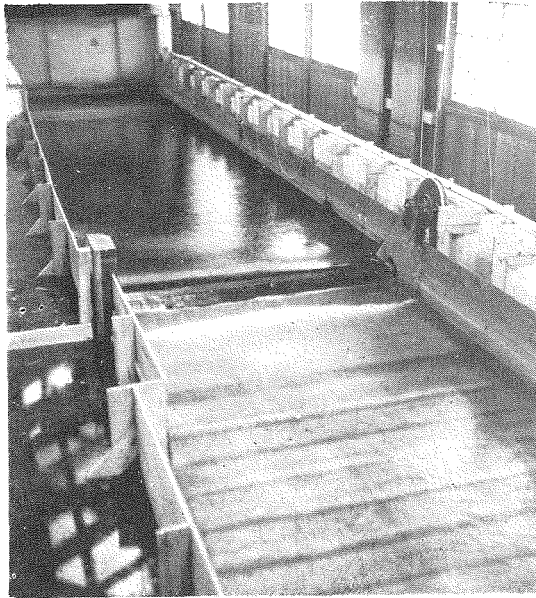


北上川降開式轉動堰模型試驗

(14) 湛水中の十分の一模型



本試験は内務省仙臺土木出張所の依頼により内務省土木試験所岩淵分室水理試験設備に依て行ひたるものにして、北上川飯野川町地先に設けられたる降開式轉動堰の動作、洗掘並に推砂等の現象を模型を用ひて實驗調査せり、蓋し本邦に於ける此種模型試験の嚆矢とす。青木楠男

第13圖は十分の一模型試験設備にして堰體は木製圓筒の内部に混凝土を填充したるものにして其重量は實設計の千分の一たらしめたり、堰脚、堰室及基礎部分皆木製にして、捲揚装置には二條のジューツグ、ワイヤを用ひたり。

(16) 四十分の一模型による洗掘並に堆砂狀況。

實河川に於ける洪水流量4000米<sup>3</sup>/秒に相當する流量を60分間流下せしめたる後の洗掘並に堆砂狀況。(計畫洪水量4730米<sup>3</sup>/秒)

